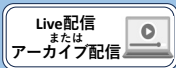


★ REACH規制、米州法制、国内動向などPFAS規制の全体像を整理!  
化粧品の商品設計・容器選定に必要な知識と対応策を解説!

セミナーNo.601116

# 化粧品に関するPFAS規制の 国内外動向と今後の対応



●日 時:2026年1月28日(水) 13:00~17:15 ●聴講料:1名につき 49,500円(消費税込、資料付)  
●会 場:Zoomを使用したLive配信 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき44,000円(税込)]  
※アーカイブ配信は2/6~2/16に実施 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

## 1. 化粧品のPFAS規制に関する海外の動向

【13:00-15:00】 MERIEUX NUTRISCIENCES JAPAN(株)  
代表取締役社長 吉竹 政子 氏

【講座趣旨】近年、環境中に分解されにくく「永遠の化学物質」とも呼ばれているPFAS(有機フッ素化合物)への規制強化が世界的に進んでいます。欧州ではREACH規制をはじめとする包括的な規制案が検討されており、米国での州レベルでの化粧品中PFASの使用禁止など相次いでいます。これらの動きは、今後日本の化粧品産業にも大きな影響を及ぼすと考えられます。本講演では、化粧品分野におけるPFAS規制の最新動向を中心に、欧米諸国をはじめとする海外での対応状況、対象物質範囲、各国当局の方針などわかりやすく整理していきます。さらに、分析面からみた課題や、海外市場に製品を輸出・販売する際の留意点なども可能な限り解説していきます。

- 【講座内容】
- PFASとは何か: 基本特性と環境影響  
-PFASの化学的特徴、使用実態、環境中での残留性・生体蓄積性  
-化粧品原料におけるPFASの役割と代替のむずかしさ
  - 各国におけるPFAS規制の現状と動向  
-欧州(REACH規制、提案中の制限案)の概要  
-米国(州別法令、FDA、EPA)  
-カナダ、オーストラリア、韓国などの最新情報
  - 化粧品分野における具体的な影響  
-規制対象となる製品カテゴリーや成分  
-表示義務 -海外輸出に関して
  - 分析とモニタリングの課題
  - 今後の見通しと企業の対応戦略

【質疑応答】

◆◆講師プロフィール◆◆◆◆◆  
専門分野:食品分析、化学分析  
学位:化学略歴・活動・著書など:  
大学卒業後、大手化学メーカーで研究職としてキャリアをスタート。外資系分析関連企業で食品・化粧品などの安全性評価及び品質保証事業に従事。2025年2月よりMxNS Japan代表取締役社長として化学分析・規制対応事業を統括。食品分析、食品容器包装、化粧品の海外分析など、幅広い分野で講演・執筆活動を行っている。

## 2. 容器包装に使用されるPFASと 国内外規制の最新動向

【15:15-17:15】 西包装専士事務所 代表 西 秀樹 氏

【講座趣旨】化粧品容器の材料としては、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエチレンテレフタレートが主に使用されている。ポリマー状のPFASとしては、ポリテトラフルオロエチレン、ポリフッ化ビニリデン等が自動車、半導体、化学工業、航空宇宙、医療医薬等に広く使用されている。しかし、PFASの人の健康や環境への影響に関しては、未だ不明確なことが多いのが現状である。このような状況下、EUでは2025年2月公布の包装・包装廃棄物規則により食品包装にPFASを使用禁止とした。米国は、3M社やデュボン社が訴訟で莫大な保証金を支払い、マドナルドはPFASを含む撥水紙の使用を禁止し、EPAの水道水の規制は一気に厳しくなった。国際がん研究機関は、2物質を発がん性物質としたが、日本はデータ不足として承認せず、水道水の基準値も変えていない。日本と欧米のPFASに対する対応には、大きな違いが見られる。PFAS系のポリマーは、完全な代替品は難しく、仮に代替品の開発が可能であっても、数年から数十年掛かると見られている。本講では、国内外におけるPFASの規制と評価状況、容器包装での規制とその影響、及び今後の見込みに関し解説する。

- 【講座内容】
- 化粧品容器の主な材料と製品例:PE、PP、PET、AS等
  - 化粧品容器の法規制:ISO、日欧、欧州化粧品工業会
  - PFASを含むポリマーの例と用途
  - PFASの国内外規制の概要
  - 国際がん研究機関の報告:2物質の発がん性評価
  - EUにおける規制動向
  - 米国における規制動向
  - 日本におけるPFAS問題と基準値見直し状況
  - 日欧米の対応の相違と考え方の違い
  - まとめ:容器包装への影響見込みと今後の展望

【質疑応答】

◆◆講師プロフィール◆◆◆◆◆  
専門分野:樹脂の製品安全、環境問題  
略歴・活動・著書など:  
日本包装技術協会 包装管理士講座 講師  
(一社)日本食品包装協会 包装学校 講師  
日本包装専士会 元会長

# 「化粧品PFAS」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

- Live配信 (No.601116) 開催日:1/28  
 アーカイブ配信 (No.602162) 配信期間:2/6~2/16

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。  
・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名		事業所・事業部	
住所	〒		
TEL		携帯電話	
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・ショートメッセージ(携帯電話)・e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため		・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため	
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



申込専用FAX 03-5436-7745

- 申込方法
- 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
  - お申し込み後はキャンセルできません。  
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

- 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 定員になり次第、申込みは締切となります